

IPCC シンポジウム/気候講演会 『気候変動を知る～最新報告書が示すこれまでとこれから～』 の開催について

気象庁は、文部科学省及び環境省と共に IPCC シンポジウム/気候講演会『気候変動を知る ～最新報告書が示すこれまでとこれから～』をオンライン開催します。参加費無料、事前登録不要です。

1. 概要

本年8月9日、気候変動に関する政府間パネル(IPCC)から気候変動に関する最新の知見を取りまとめた、第6次評価報告書の第1作業部会(WG1)報告書(自然科学的根拠)が公表されました。この後も、2022 年にかけて第2作業部会報告書(影響、適応、脆弱性)、第3作業部会報告書(緩和策)及び統合報告書が公表される予定です。

これを受けて、気象庁で例年開催している「気候講演会」と、環境省で例年開催している「IPCC シンポジウム」を合同開催し、IPCC から公表された最新の報告書の内容や、日本の気候変動に関する最新の知見を紹介いたします。

○日時 令和3年10月29日(金)～令和5年3月末(予定) 講演動画配信
令和3年11月22日(月) 10時30分～最長12時00分 座談会

○開催方式 オンライン(参加費無料、事前登録不要)

○主催 気象庁、文部科学省、環境省

○後援 (一財)日本気象協会、(一財)気象業務支援センター、
地球ウォッチャーズー気象友の会ー

下記 URL にて配信いたします。質問の投稿方法についても下記を御覧ください。

URL: <https://www.gef.or.jp/news/event/211029ipccsympo/>

2. プログラム

◆特別録画講演

- ・ヴァレリー・マッソン=デルモット(IPCC 第1作業部会共同議長)※日本語字幕入り

◆動画『IPCC AR6 WG1 における地域の記述と「日本の気候変動 2020」』

高藪 出*(WG1 第10章執筆者、気象庁気象研究所 主任研究官)、

今田 由紀子(気象庁気象研究所 主任研究官)、

川瀬 宏明(気象庁気象研究所 主任研究官)

- ・「日本の気候変動 2020」を中心に、日本国内に焦点を当てた気候変動に関する解説動画

◆録画講演:

- ・『IPCC の概要、今期の活動及び今後』

田辺 清人*(IPCC インベントリータスクフォース共同議長)

- ・『気候変動への人為的影響』

小坂 優*(WG1 第3章執筆者、東京大学先端科学技術研究センター 准教授)

- ・『二酸化炭素排出・温暖化と海の変化』

石井 雅男*(WG1 第5章執筆者、気象庁気象研究所 研究総務官)

- ・『変化する気候における極端気象・気候』

佐藤 正樹*(WG1 第11章執筆者、東京大学大気海洋研究所 教授)

◆座談会: ※11月22日 10時30分～最長12時00分 YouTubeにてライブ配信

- ・上記出演者のうち*印の付された5名と江守正多氏(WG1 第1章執筆者、国立環境研究所地球システム領域副領域長)による座談会をライブ配信します。録画講演に関して集まった主な質問に回答いただくほか、執筆者の視点から今回の報告書のポイントや作成にまつわる話などを語っていただきます。

問合せ先 大気海洋部 気象リスク対策課気候変動対策推進室 須藤、國光 電話 03-6758-3900 (4110、4113)
